

# かながわの森と水



**Q** わたし 私たちが飲んでいる水はどこの水？

**A** 県内の水道の約6割は相模川、約3割が酒匂川によってまかなわれているよ。相模川は山梨県から、酒匂川は静岡県からも流れてくるんだよ。



**Q** 水はどのように利用されているの？

**A** 神奈川県で使われる水の4分の3くらいは生活用水なの。だから生活排水の対策も大事なんだよ。



**Q** どうして水のために森が必要ななの？

**A** 川は、森に降った雨水が集まってできるんだよ。だから森は水のふるさとなの。きれいな川の水が生まれるためには、元気な森が必要なんだよ。

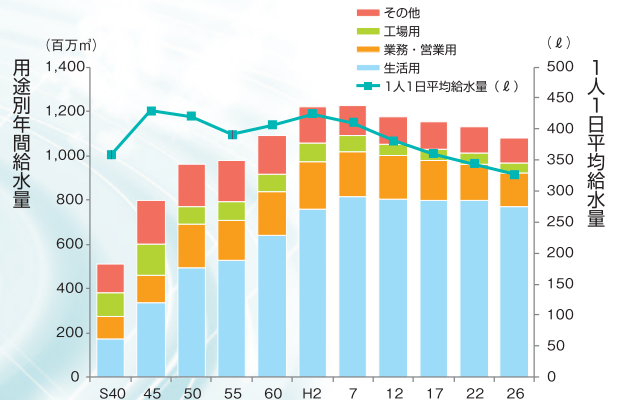


**Q** 森と水を守るために、神奈川県ではどのようなことをやっているの？

**A** 神奈川県では、将来にわたり良質な水を安定的に県民の皆さんが利用できるようにするために、平成19年度から、森の手入れや水をきれいにするための特別な取組を計画的に進めているよ。

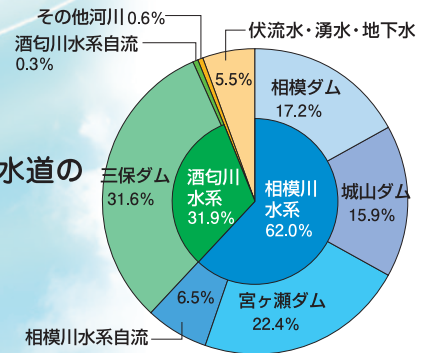


用途別年間給水量と1人1日当たり平均給水量の推移



生活用：炊事、洗濯、風呂、水洗トイレ等、家庭で使用されるもの  
 業務・営業用：事務所、商店、公共施設等、都市生活に使用されるもの  
 工場用：工場用  
 その他：船舶用、無収水量（公衆飲料用等料金徴収しないもの）、無効水量（配水管の漏水等）など

神奈川県内の上水道の水源地別構成比



平成28年4月1日時点

※自流：ダムなどによって流量調整を行わないときに、その河川に自然状態で流れている水の量





# かながわの森と水を守る取組

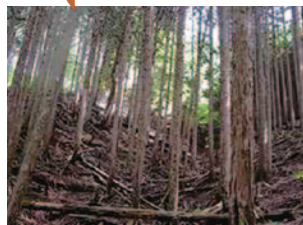
## 森を「緑のダム」にするために

森には、「水を貯える」、「水をきれいにする」はたらきがあり、「緑のダム」と呼ばれているよ。大切なのは、これらのはたらきを十分に発揮できる元気な森にすることだよ。



戦後、人々が盛んにスギやヒノキなどの木を植え、人工林が作られました。そのうち林業が盛んでなくなり、多くの人工林が手入れ不足で荒れていきました。木が混みすぎて日光が入らず、地面に草も生えない人工林では、雨が降ってもしみ込み、土とともに流れ出してしまいます。県では、荒れた人工林の手入れをして、元気な森林になるように整備をしています。

この森、大丈夫？



手入れ不足で荒れた人工林

人工林では

県ではこんな取組をしています！



手入れがされた健全な人工林

神奈川県では、丹沢山地などにシカが生息しており、主に草や木の葉を食べていますが、増え過ぎると森を手入れしてせっかく生えた草を食べつくし、木の皮をかじって枯らしてしまいます。このため、県では増えすぎたシカを捕獲する取組を進めています。その他にも、土が流れ出さないようにする対策や、ブナ林再生の取組などを行っています。



下草を食べるシカ



土壌流失

自然林では



ワイルドライフ・レンジャー※によるシカの管理捕獲



丸太柵などによる土壌流出の防止

※ワイルドライフ・レンジャー…野生動物の生態や捕獲等に関する専門知識、技術、技能を有する専門職員

## 水は森からやってくる

～かながわの森と水の関係～

私たちが普段使っている水道の水の多くは、神奈川県西側に広がる水源の森に降った雨水です。森が貯えた雨水は、少しずつ川に流れ込み、ダム湖に貯まります。ダムでは水量を調節しながら水を川に流し、下流にある取水堰で水を取り込み、各浄水場に送っています。そこから水道管を通して各家庭や会社・工場などに届きます。



## 自然豊かな河川にするために

この川、大丈夫？



両岸がコンクリートで固められた川

コンクリートで固められた川は、石や土砂がないため生き物がすみにくく、水を浄化する機能が発揮されません。



県ではこんな取組をしています！



自然の豊かさを取り戻した川

自然浄化機能が十分発揮され、様々な生き物がすめるよう、県では、市町村が行う自然豊かな水辺環境の整備や川の水質を改善する取組を支援しています。

## 良質な地下水を守るために

県ではこんな取組をしています！



田んぼに水を張って地下に浸透させる水田かん養

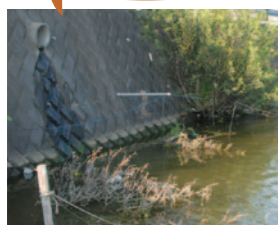


地下水を浄化する施設

地下水は、県の西部や中央部の地域において重要な水源です。しかし、アスファルト舗装の増加によって、雨水が地下に浸透する量が少なくなるなど、地下水の減少や水質の悪化などが心配されています。県では、市町村が行う雨水を地下に浸透させ、地下水の量を増やす地下水かん養の取組や地下水の水質保全の取組を支援しています。

## 生活から出る排水をきれいにするために

この湖、大丈夫？



ダム湖に流入する生活排水

生活排水に含まれる窒素やリンは、ダム湖を富栄養化させ、アオコの発生原因となります。



平成18年に発生したアオコ

アオコは、水中の植物プランクトンが大量発生し、水面が緑色になる現象です。そして、水道水のかび臭の原因となります。

県ではこんな取組をしています！



高度処理型合併処理浄化槽

ダム湖への生活排水の流入を防いで、ダム湖の水質を改善するため、県では、ダム湖周辺で市町村が行う公共下水道や窒素・リンを取り除く高機能な浄化槽の整備を支援しています。

## 相模川上流域の山梨県と共同して

県ではこんな取組をしています！



手入れされた桂川流域の人工林(山梨県)



桂川清流センターのリン除去設備(山梨県大月市)

相模川の上流は山梨県にあり、ダム集水域のほとんどが山梨県内に広がっているため、相模川流域の水環境を保全するためには、山梨県と共同して取組を進める必要があります。

県では、平成24年度から、山梨県と共同し、相模川上流域の森の手入れや、山梨県の下処理場である桂川清流センターの処理水からダム湖のアオコの原因となるリンを取り除く対策に取り組んでいます。